



個人投資家向け会社説明会

Kabu Berry Lab [FCE(9564) IRセミナー]

株式会社FCE

2024年3月21日

東証スタンダード

証券コード：9564



Agenda



01 会社概要



02 2024年9月期第1四半期業績&トピックス

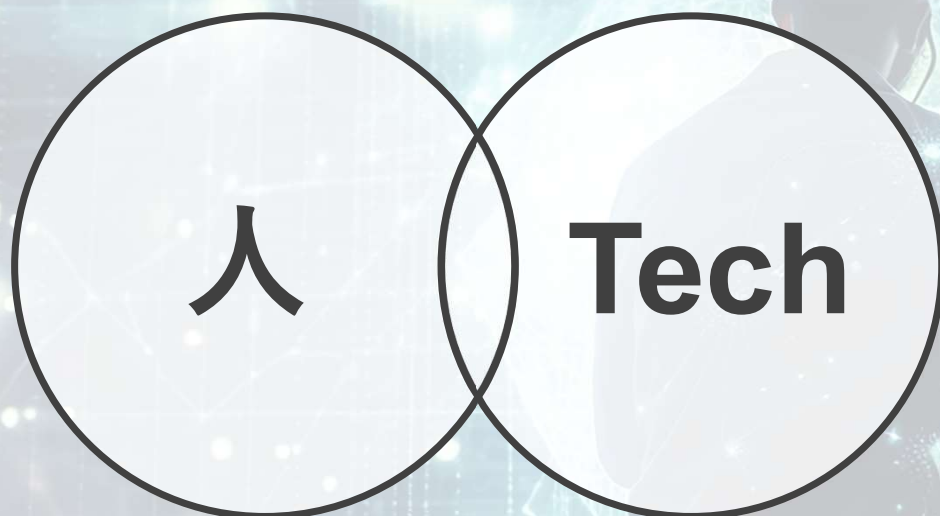


03 事業および成長戦略概要（DX推進事業&教育研修事業）

Purpose

チャレンジあふれる未来をつくる

Mission



人的資本の最大化に貢献する

Human Capital Maximizer



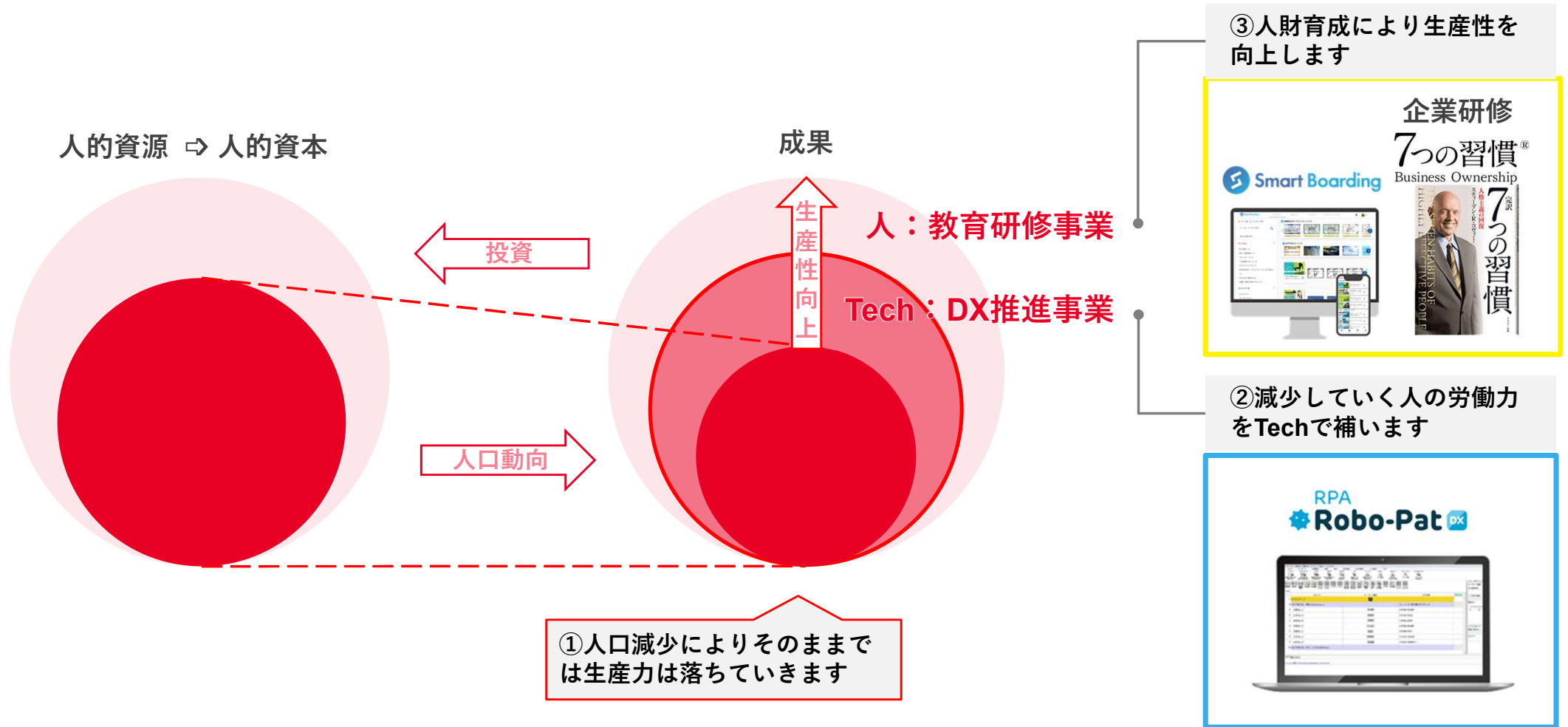
DX推進事業



教育研修事業



人的資源減少 ⇒ 「人」 × 「Tech」 で、人的資本の最大化に貢献する





会社概要

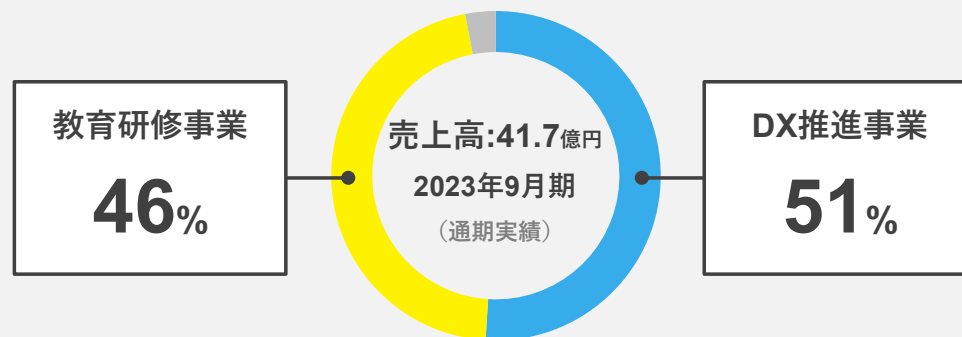
会社名 | 株式会社 FCE 証券コード：9564

設立 | 2017年4月21日
グループ創業2004年2月19日

従業員数 | 194名 外パート・アルバイト19名

※ 2023年12月31日現在

事業ポートフォリオ



主要な事業 (事業セグメント)

教育研修事業

Smart Boarding

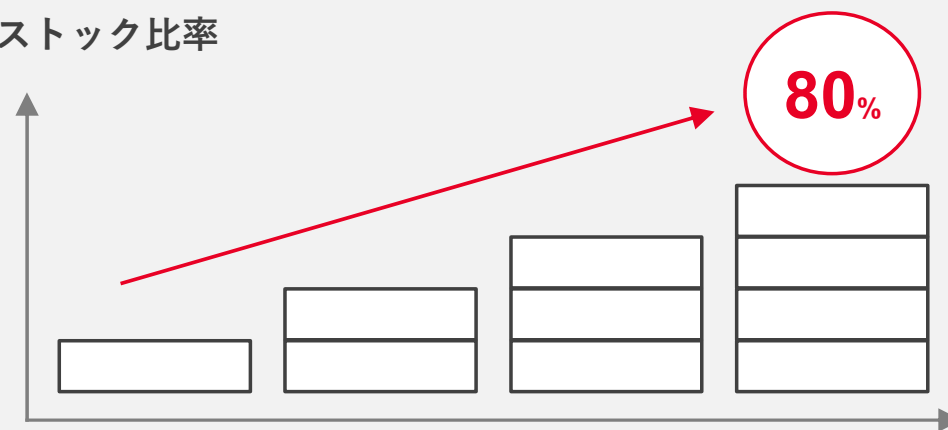
フォーサイト


DX推進事業

Robo-Pat RPA

“RPAの切り札”

ストック比率





エグゼクティブ・サマリー

2024年9月期第1四半期業績

売上高

1,039百万円 (前年比+11.9%) 

経常利益

174百万円 (前年比+71.6%) 

業績予想の上方修正

売上高：4,464百万円 → **4,600**百万円 営業利益：702百万円 → **707**百万円

経常利益：700百万円 → **705**百万円 当期純利益：450百万円 → **454**百万円

- ▶ 2024年9月期第2四半期よりコスモトピア社の連結子会社化による増収、増益
- ▶ DX推進事業(RPA Robo-Pat DX)と研修事業(Smart Boarding)が好調に推移

トピックス

- ▶ 株式会社日本コスモトピア（以下、コスモトピア社）の全株式を取得（子会社化）
公教育のデジタル化（GIGAスクール構想）へのアクセス強化と販路の相互補完、
教育ICT分野の事業強化並びにAI等の拡張性を伴ったEd techに関する事業領域の拡大を図る
- ▶ 純粋持株会社制度解消の進捗状況：FCEトレーニング・カンパニーと2月13日に合併契約を締結



3カ年計画数値（2023年9月期～2025年9月期）

（2023年5月24日開示）

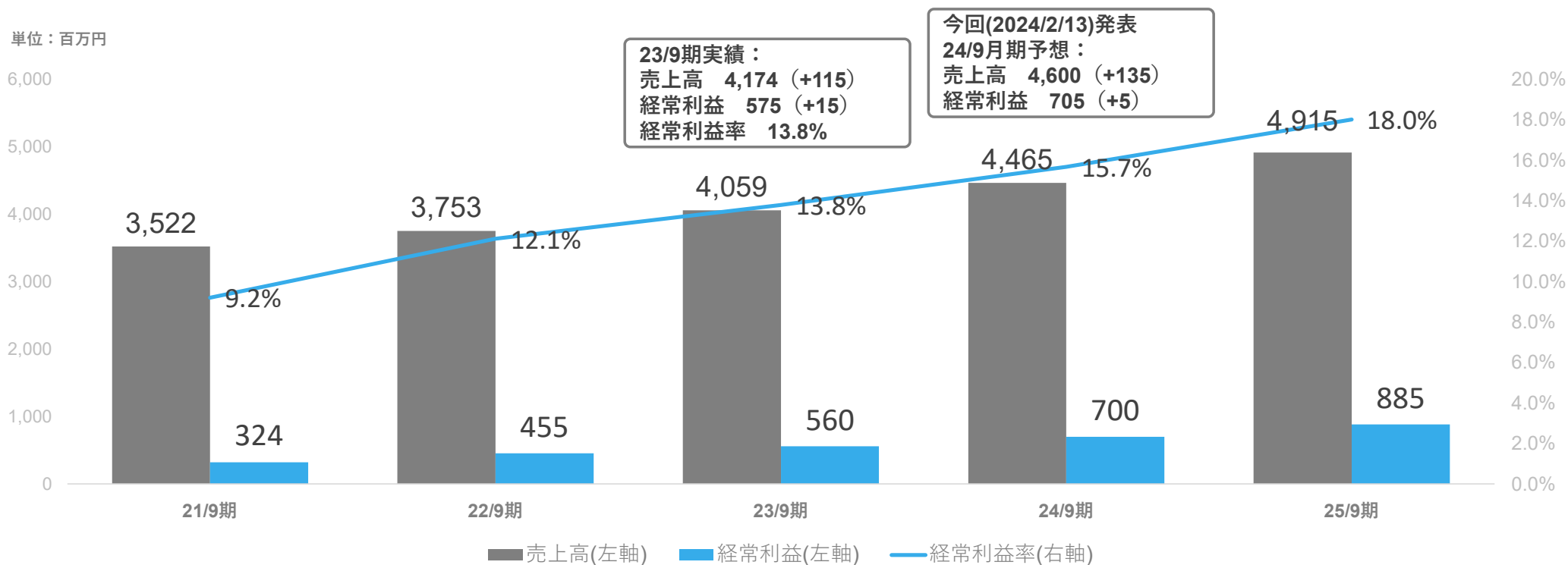
売上高

毎期、10%以上の成長を実現し、25/9期には49億円以上を計画

経常利益(率)

毎期、25%以上の成長を実現し、25/9期には8.8億円以上を計画

利益率も毎期、着実に向上し、25/9期では18%を計画



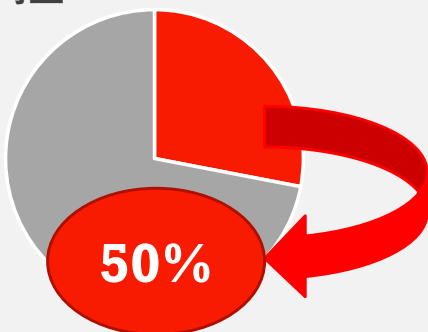


FCEのIR活動について

課題認識：認知度向上

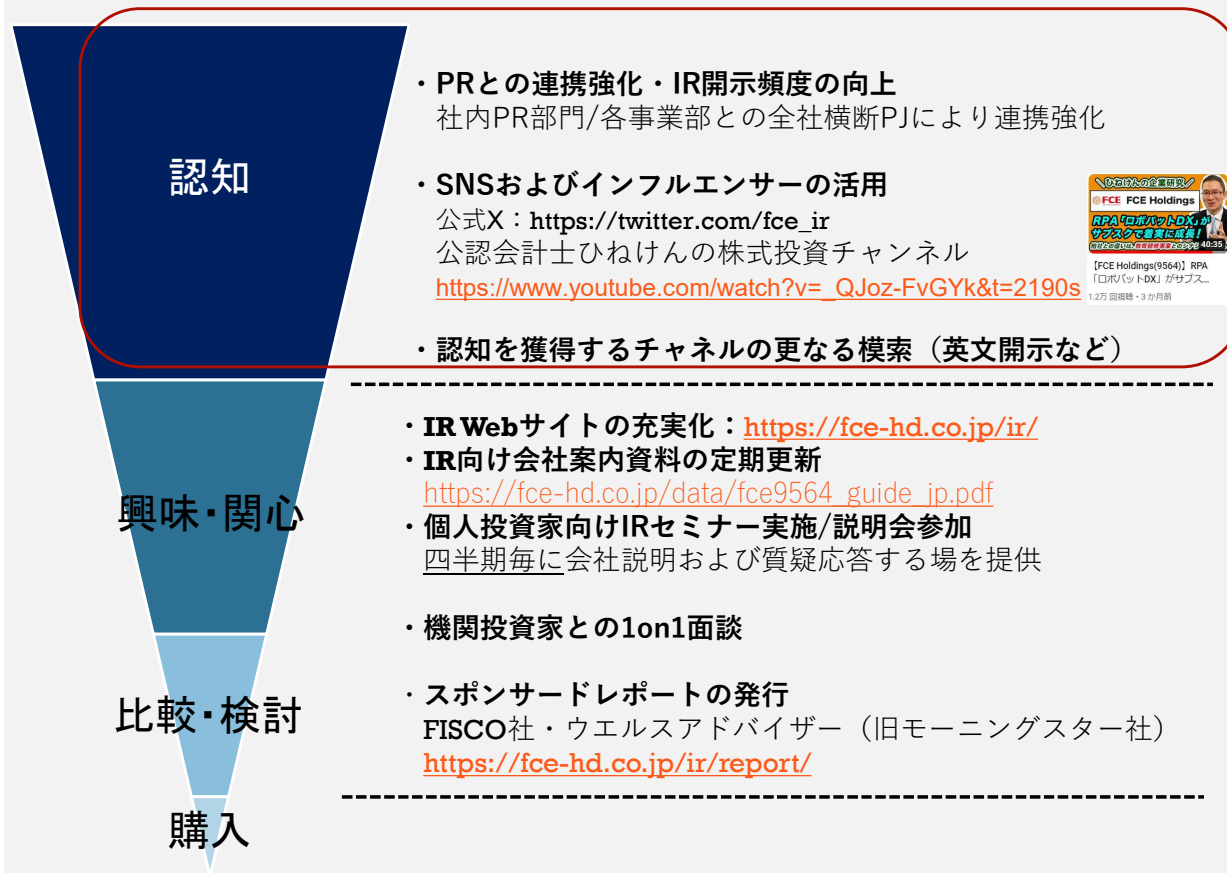
FCE (9564) を

- 知っている
- 知らない



個人投資家5万人へアンケート調査
(2023年)

パーチェスファネルを意識したIR施策の展開



認知度向上により・・・

- ・ 出来高の増加
- ・ 株主数の増加など



→倍率 (Multiple) の向上を目指す



Agenda

- 01 会社概要
- 02 2024年9月期第1四半期業績&トピックス
- 03 事業および成長戦略概要（DX推進事業&教育研修事業）

2024年9月期 第1四半期 | 決算概要

売上高

第1四半期の売上高はDX推進事業・教育研修事業ともに増収となり、前年同期比で**11.9%**の増収

経常利益

第1四半期の経常利益は増収や前年度の一時費用の反動もあり、前年同期比で**71.6%**の増益

単位：百万円	2023年9月期	2024年9月期	
	1Q (10-12月)	1Q (10-12月)	前年同期比
売上高	929	1,039	+110 (+11.9%)
営業利益	119	172	+52 (+44.0%)
経常利益	101	174	+72 (+71.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	64	111	+47 (+73.2%)
EBITDA※	128	181	+53 (+41.4%)
経常利益率	10.9%	16.8%	+5.8%pts

2024年9月期 業績予想の修正

- ・ 2024年9月期第2四半期よりコスモトピア社の連結子会社化による増収
- ・ DX推進事業(RPA Robo-Pat DX)と研修事業(Smart Boarding)が好調に推移
- ・ 売上、利益共に当初計画を上回って推移する見込みとなったため、業績予想を上方修正

単位：百万円	前回 (2023/11/13) 発表 2024年9月期	今回 (2024/2/13) 発表 2024年9月期	前回(2023/11/13) 発表比		(参考) 2023年9月期	前年度対比	
	予想	予想	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
売上高	4,464	4,600	+135	+3.0%	4,174	+425	+10.2%
営業利益	702	707	+5	+0.7%	581	+125	+21.5%
経常利益	700	705	+5	+0.7%	575	+129	+22.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	450	454	+4	+0.9%	318	+135	+42.3%
1株当たり 当期純利益(円)	144.34	145.38	+1.04	+0.7%	104.60	+40.78	+39.0%



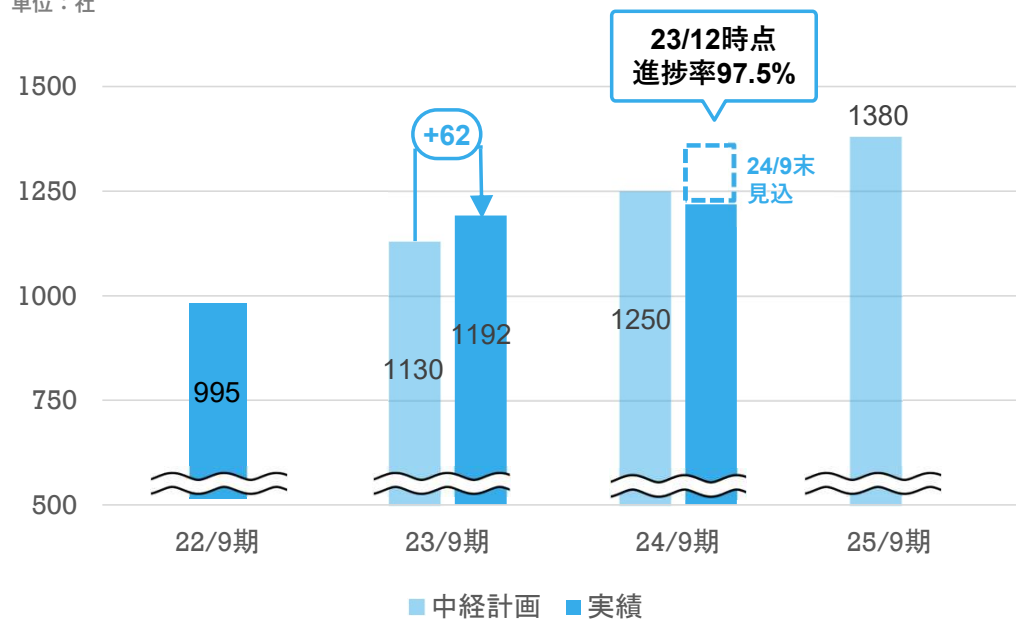
2024年9月期 第1四半期

主要KPI

- RPAロボパットDXの導入社数は2023年12月末時点で1,219社（24/9末時点の中経目標は1,250社）に到達
- Smart Boardingの導入社数は2023年12月末時点で670社（24/9末時点の中経目標は670社）に到達

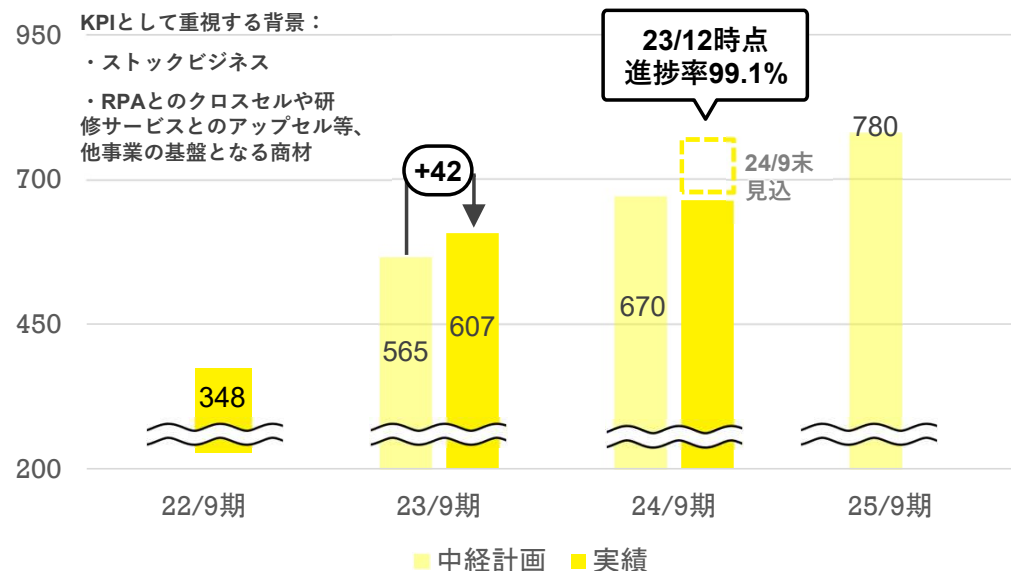
RPA ロボパット DX導入社数の推移（2023年5月24日開示 中期経営計画対比）

単位：社



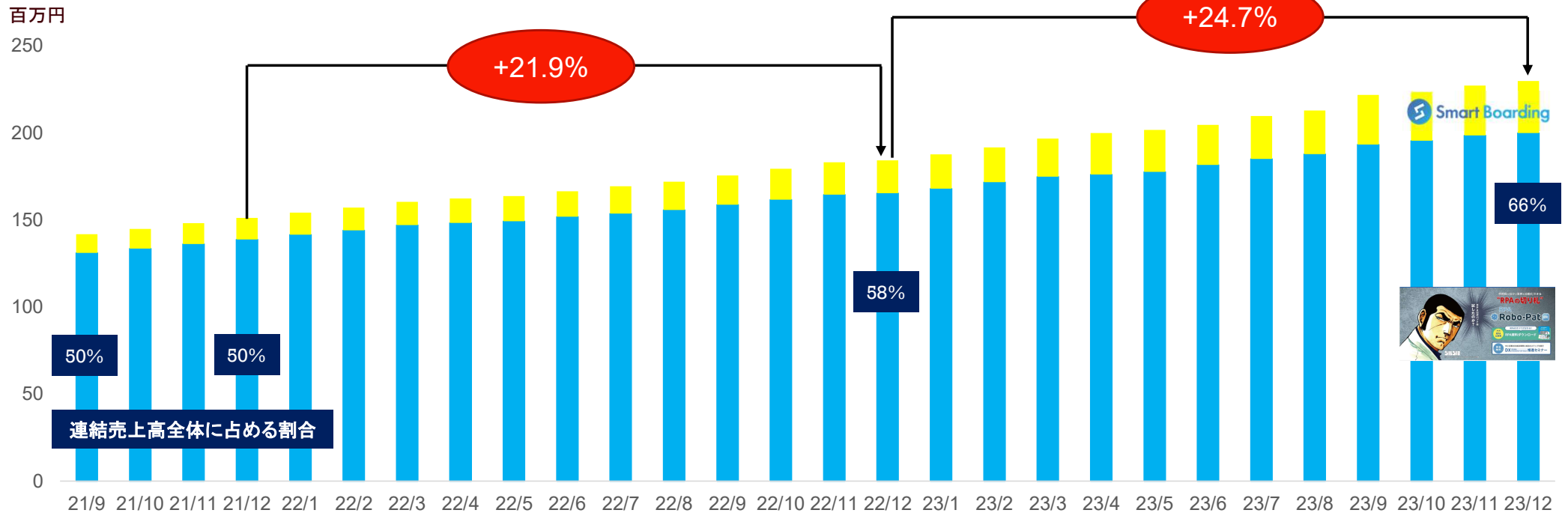
Smart Boarding導入社数の推移（2023年5月24日開示 中期経営計画対比）

単位：社





RPA Robo-pat DXとSmart BoardingのMRR推移と直近ARR



- ▶RPA Robo-pat DXの継続的な成長に加えて、Smart Boardingの成長速度が加速
- ▶2023年12月のMRR（Monthly Recurring Revenue）の成長率（前年同期比）は24.7%
- ▶2022年12月の成長率(21.9%)、2023年12月のARR（Annual Recurring Revenue）は27.6億円
- ▶事業の一部(連結売上高の66%)ではあるものの、SaaS型のKPIの一つである40%のルールの水準にあるとの認識。



バランスシートの概況

単位：百万円	2022年 12月末	2023年 3月末	2023年 6月末	2023年 9月末	2023年 12月末	増減 (前四半期比)	増減 (前年22/12比)
現金及び預金	1,699	1,674	<u>2,203</u>	2,247	1,938	△308	+239
その他流動資産	547	<u>819</u>	<u>639</u>	635	640	+5	+93
流動資産合計	2,246	2,494	2,842	2,882	2,579	△303	+333
固定資産合計	314	315	324	415	429	+13	+115
資産合計	2,560	2,810	3,167	3,298	3,008	△290	+448
負債合計	1,138	1,190	<u>1,413</u>	<u>1,593</u>	1,195	△397	+57
株主資本	1,415	1,613	1,741	1,688	1,801	+112	+386
その他純資産項目	5	6	13	15	11	△4	+6
純資産合計	1,421	1,620	1,754	1,704	1,812	+107	+391
負債純資産合計	2,560	2,810	3,167	3,298	3,008	△290	+448
自己資本比率	55.5%	57.6%	55.3%	51.6%	60.2%	+8.6% pts	+4.7% pts

※過去の四半期毎のバランスシートの特徴（前四半期からの増減要因）

Q1(12月末): 9月末の負債項目である税金関連や賞与支払の影響で現金及び預金が減少する。

Q2(3月末): フォーサイト手帳の販売によりその他流動資産(売掛金)が増加する。

Q3(6月末): 教育事業関連で4月に年間分の売上に対する入金が行先するため負債項目（前受収益）が増加する。

フォーサイト手帳の売掛金の回収も進むため、現金及び預金が大きく増加する。

Q4(9月末): 年度末の戦略的な費用集中などにより、負債項目(未払金など)が増加する。



株式分割

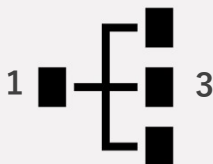
3月31日を基準日とし、株主名簿に記録された株主様の所有する普通株式を1株につき3株の割合をもって分割いたします。

(2024年2月26日開示)

株式分割の概要

■株式分割の割合：

1株につき3株の割合をもって分割



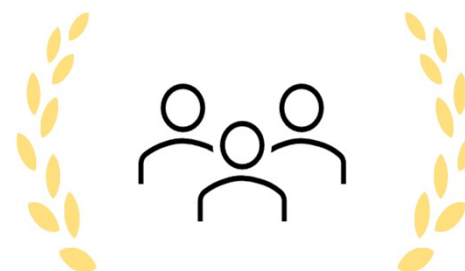
■基準日：2024年3月31日

当日は株主名簿管理人の休業日につき、
実質的には2024年3月29日（金）

■効力発生日：2024年3月31日

■株主優待制度について：

株式分割の効力発生日以降の制度内容・保有株式数基準につきましては、決定次第開示をさせていただく予定です。



・当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることによって、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ります。

・2024年1月からの新しいNISA制度を踏まえ、個人の投資活動が促進される中、株式分割により投資しやすい環境を整えるとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的な株式価値向上に努めます。



Agenda

- 01 会社概要
- 02 2024年9月期第1四半期業績&トピックス
- 03 事業および成長戦略概要（DX推進事業&教育研修事業）

RPA 「ロボパットDX」 の外部評価

チャーンレート **1%台**

RPAロボパットDXが『最強ITツール』として
約7300製品中、**第1位**を獲得！

ITreview Best Software in Japan 2023 TOP 50

RPA Robo-Pat DX

ITreview Best Software in Japan 2023 「ビジネスパーソンから最も支持を集めたツール」

RPA Robo-Pat DX

2年連続受賞

RPAロボパットDXが「BOXIL SaaS AWARD 2023」
BOXIL SaaSセクション RPA部門1位
導入事例セクション 医療・製薬業界部門1位を受賞

BOXIL SaaS AWARD 2023 部門1位 BOXIL SaaSセクション

BOXIL SaaS AWARD 2023 部門1位 導入事例セクション

ITreview Best Software in Japan 2023
「ユーザーが選ぶ【最強ITツール】ランキング50」にて

約7300製品中、第1位を獲得！

(レビューサイト「ITreview」 / 2023年5月24日)

2022年最も評価されたSaaSを表彰する
「BOXIL SaaS AWARD 2023」にて

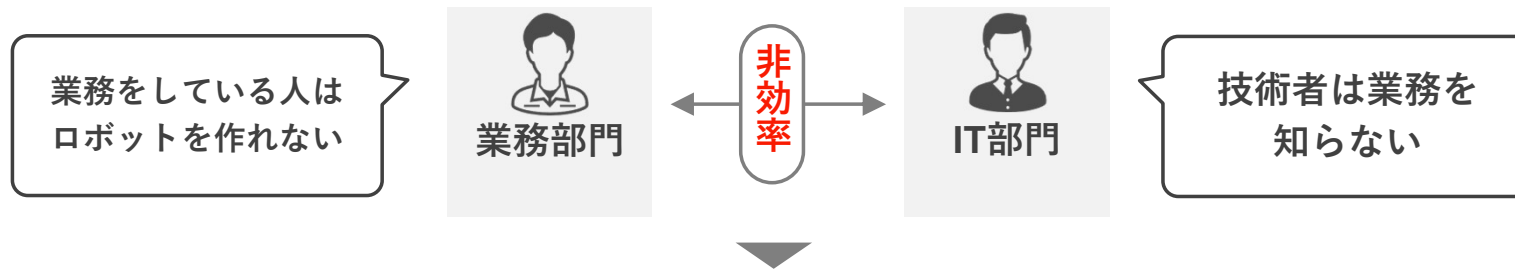
BOXIL SaaSセクション RPA部門 **第1位**
導入事例セクション 医療・製薬業界部門 **第1位**

(SaaS比較サイト「BOXIL SaaS (ボクシルサーズ)」 / 2023年3月7日)



パーソナルRPA

【従来のRPAの課題】 「ITスキルの高い技術者がロボットを作る」が前提



RPA 「ロボパットDX」は業務を知っている人が自分で作成できる
「パーソナルRPA」

RPA 「ロボパットDX」

- 各パソコンで利用可能
- プログラミングの知識は不要
- ユーザーが自分でロボットを作成できる
- 業務に応じて自分でロボットをカスタマイズできる

その他従来のRPA

- サーバーなど専門的なシステム環境が必要
- プログラミングの知識が必要
- 業務を直接担当していないIT部門がロボットを作成
- 業務変更に対してタイムリーに修正ができない



RPA「ロボパットDX」だけの【ワンストップ】サービス

RPA「ロボパットDX」は、RPA導入からロボの作り方勉強会、業務改善や組織改善のサポートまでワンストップで提供するサービスです。



RPA導入



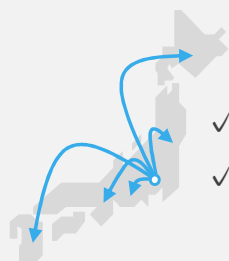
ロボの作り方
勉強会



業務改善 / 組織改善
サポート

今後のDX推進事業拡大戦略

幅広い業種や企業規模に対応し、販路の拡大が進んでいます。



- ✓ 販売パートナー
- ✓ 紹介パートナー

導入社数の増加

地方における認知拡大
販売体制の強化 / 構築

×

単価の向上

お客さま社内での横展開

当社のアプローチ

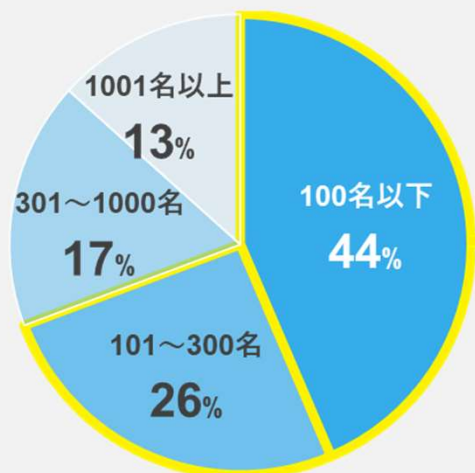


中小企業との実績も豊富なので現場の部署とのやりとりもスムーズに対応可

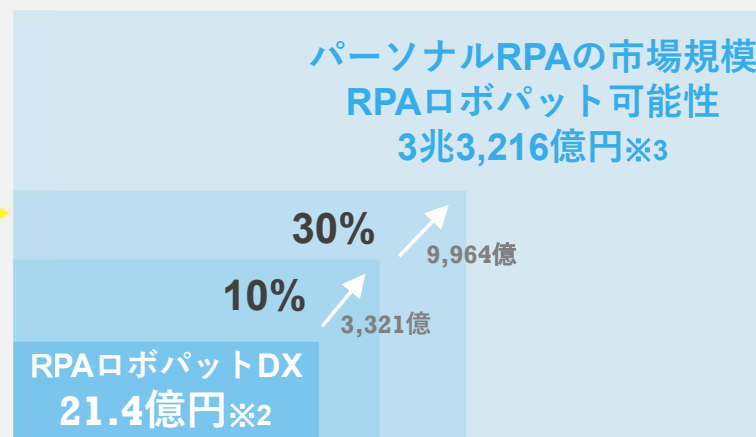
導入企業規模別割合

✓ 企業規模を問わず
(従業員300人以下で7割を占める)

✓ 業種、業界を問わず



RPA「ロボパットDX」 拡大の可能性※1



※1: 下記に記載の計算方法により当社が推計しております

※2: 当社2023年9月期DX推進事業売上高

※3: 従業員数300名以下国内法人企業を「パーソナルRPA市場」と定義し、約173万社×RPAロボパットDX平均月額単価16万円×12ヶ月を乗じて算出

今後のDX推進事業拡大戦略の進捗

紹介パートナー制度の拡大や同業種でのクライアント紹介など、新たな事業拡大機会を創出します。



提携先



税理士事務所
(士業)



ヤマダデンキ
(小売業)



Kintone
(情報・通信業)



ウィルオブ・ワーク
(人材派遣業)



あおもり創生パートナーズ
(地方銀行関連)



他業種共催セミナー

様々なルートからRPAロボパットDXの情報提供を展開中



教育研修事業

アクティブラーナーの資質を引き出す
フォーサイト
ふりかえり力の止手帳

アクティブラーナーの資質を引き出す
フォーサイト
アプリ
ふりかえり力の止手帳

Foresight 2023

Plan
Do
Check
Action

PLAN
DO
CHECK
ACTION

約**350,000**人、**1,100**校に導入

振り返り力を高め、毎日書くことでPDCAを回す力を
培うことを目的に開発したフォーサイト手帳。
紙の媒体でスタートし、2023年度は業界トップシェアを獲得。
2023年よりアプリ版をリリースし、
全国の学校に無料トライアルを実施中。



「自社の社員教育をこれ一つで！」
オンライン研修も対面研修もOJTも

アカウント数累計
40,000突破

人事が選ぶ、導入したい
オンライン社員研修
No.1※



社員教育制度構築のプラットフォーム

OJTも研修もeラーニングもこの一つのシステムで実現、
専任コンサルタントが教育制度構築の支援も行う
社員教育プラットフォーム。

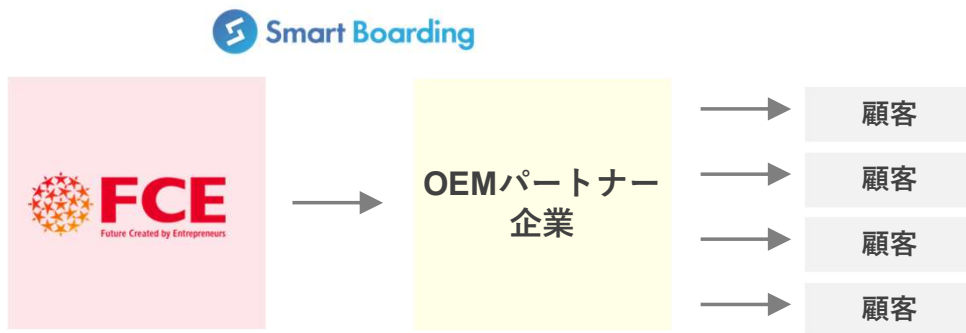
<受賞歴等>

- ・日本の人事部 HRアワード2018 プロフェッショナル部門 人材開発・育成部門 最優秀賞受賞
- ・BOXIL SaaS AWARD eラーニング（システム）部門
Good Service2023 Winter, 2023 Autumn, 2023 Summer, 2023 Spring
- ・BOXIL SaaS AWARD 2022年総合ランキング 人事・給与部門 ノミネート（ベスト評価賞 6賞受賞）

Smart Boarding 拡大戦略の進捗

OEMパートナーとの提携により、導入企業数は順調に拡大しています。
HRサービスのカオナビ※1（東証グロース 4435）と連携を開始しました。

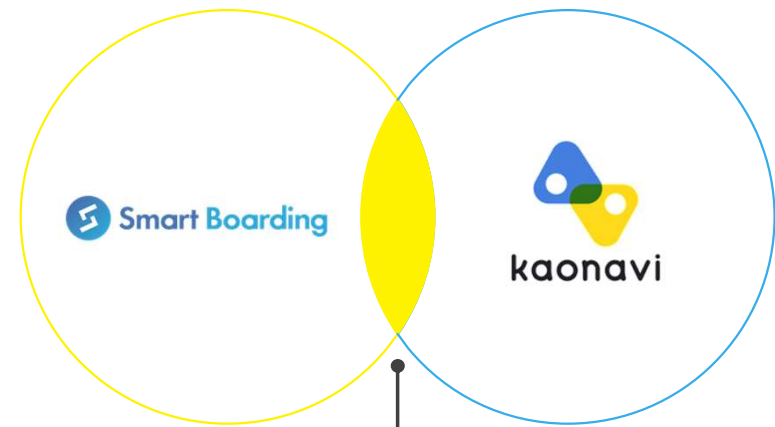
OEMパートナーとの連携による拡大



ノウハウ共有や技能育成を要する企業※2に
効率的・効果的なノウハウ提供が可能

※2：例えば、チェーン展開や多店舗展開をしている企業やコーチングスクールのように人材育成、技能提供を事業とする企業など

他社HRサービスとのシステム連携



Smart Boardingのユーザー情報や受講履歴が一元管理され、
効率的で効果的な人材管理と育成が可能

※1：株式会社カオナビ（東京証券取引所 グロース市場上場、証券コード：4435）
タレントマネジメントシステム『カオナビ』を提供



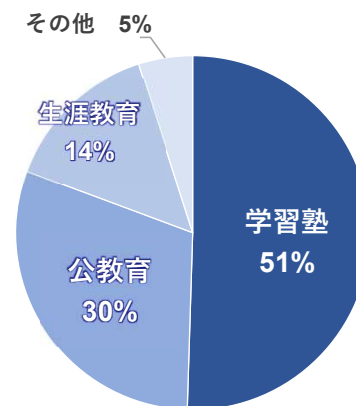
コスモトピア社の会社概要

2024年1月4日より連結子会社化



設立		1982年
本社		大阪府大阪市淀川区西中島
年間売上		約2億円 (2023年3月期)
従業員数		24名
事業内容		学力向上支援ソフトウェアの 企画 / 開発 / 販売事業

売上高構成比(23年3月期)



学習塾向けが全体の
半分を占める

公教育の分野にも注力

導入校数 (公教育・私塾)



小中学校 **600**校超



私塾 **400**校超

コスモトピア社の商品概要

公教育事業・私教育事業・生涯学習事業の3つの事業を展開
それぞれの業界を取り巻く状況の変化に適切に対応し、顧客の課題を自立学習で解決しています。

主要商品



みんなの
学習クラブ Selfee

小中学生向けデジタル教材



カルチャーレストラン
culture restaurant

シニア向け生涯学習コンテンツ

対象 / サービス



小中学校・教育委員会

小学校・中学校向け学力向上支援教材



学習塾

小中高生向け主要教科に対応する自立学習総合支援システム



その他教室ビジネス事業者など

ICT教材を活用したシニア向け教育コンテンツ



コスモトピア社とFCEのマーケットにおけるシナジー

コスモトピア社とFCE相互の商品を展開することで、短期的には販路が広がります。中期的には7つの習慣J®やフォーサイトの活用により自立した状態の中で、みんなの学習クラブ・Selfeeによる自立学習を促す教育・学習メソッドの確立へ繋げていきます。

短期シナジー

株式会社
日本コスモトピア

小中学校：600校超／私塾：400校超

科目教育 **Selfee** みんなの学習クラブ®

クロスセル

主体性教育 **7つの習慣J** アクティブラーナー育成授業
フォーサイト アクティブラーナーの資質を引き出す

小中学校：1,000校

FCE
Future Created by Entrepreneurs

中期シナジー

株式会社
日本コスモトピア

Selfee みんなの学習クラブ®
7つの習慣J アクティブラーナー育成授業
フォーサイト アクティブラーナーの資質を引き出す

主体性教育×科目教育
パッケージ化
(教育・学習メソッドの確立)

FCE
Future Created by Entrepreneurs



コスモトピア社の3ヵ年事業・シナジー展開イメージ

1年目はコスモトピア社単体の体制構築やシナジー創出のための種まき、2年目はFCEとの連携によるシナジー発現、3年目に安定的な収益構造の確立を目指します。



1年目(2024.1~2024.9)

体制構築フェーズ

- ・クロスセルを開始
- ・商品力向上に向けた投資
- ・間接部門や社内インフラの共通化等による効率化を推進



2年目(2024.10~2025.9)

シナジー発現フェーズ

- ・着実な営業先開拓や入札案件獲得により増収に寄与
- ・FCEとの連携強化
- ・フォーサイトアプリとコスモトピア商品の連携（共同開発）

3年目(2025.10~2026.9)

業績拡大フェーズ

- ・主体性教育×教科教育のパッケージ化（教育・学習メソッドの確立）
- ・安定的な収益性構造の確立



IR information



本説明資料やその他IRに関するご意見やご質問は、
メール・IRお問い合わせフォーム・IR公式Twitterより
お問い合わせください。

ir@fce-hd.co.jp



コーポレートサイトでは、決算説明資料・Q & Aの採録他、
アナリストレポート等もご覧いただけます。

<https://fce-hd.co.jp/ir/>



公式のX (旧Twitter)では適宜情報発信をしております。

https://twitter.com/fce_ir



本資料の取り扱いについて

本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。

これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社及び当社グループは、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。